

令和 7 年度

事業報告

社会福祉法人みどりの樹

もくじ

法人本部	・・・・・・・・・・・・・・・・	1
多機能事業所ループ	・・・・・・・・・・・・・・・・	13
多機能事業所ループ奏	・・・・・・・・・・・・・・・・	16
生活介護事業所さつき	・・・・・・・・・・・・・・・・	18
生活介護事業所まつぼっくり	・・・・・・・・・・・・・・・・	21
放課後等デイサービス事業所あざみ	・・・・・・・・・・・・・・・・	23
日中一時支援事業所あるば	・・・・・・・・・・・・・・・・	25
はまきた地域活動支援センター	・・・・・・・・・・・・・・・・	26
特定相談支援事業所ぼるた	・・・・・・・・・・・・・・・・	28
事業報告書の付属明細書	・・・・・・・・・・・・・・・・	30

● 令和7年度 事業報告（法人全体）

はじめに（総括）

本年度の事業運営にあたり、利用者の皆さん、ご家族、または地域の様々な方々、多方面よりご指導・ご協力を賜りましたことに深く感謝申し上げます。

令和7年度の成果と課題を踏まえ、次年度も法人の社会的責務を果たすべく、より一層の努力を重ねてまいります。今後ともご支援を賜りますようお願い申し上げます。

（理事長 伊藤基久）

I 基本理念、行動指針の浸透・遂行について

例年同様に、職員全体で常に意識して業務に当たれるよう、ポスターのように掲示できるようデザインし、各所事務所に掲示してあります。あわせて、年度当初の事業計画でも「地域」をより強く意識していけるよう、各事業所の重点目標に地域とのつながりを進めていくための具体的取り組みを掲げてそれぞれの活動を行いました。名札サイズに折りたためるようにして、基本理念・倫理綱領をまとめた冊子を作成し、業務中に携行できるようにしています。

II 令和7年度スローガン 倫理綱領・行動規範の解釈を深め、実践しよう 総括

倫理綱領に記載のある言葉を覚えるのではなく、それぞれで条文ごとの解釈を深めていくために「りんりとあゆむ」と称する企画を打ち、毎月ごとに1条文ずつそれぞれ考えをシートに記していく取り組みを実施しました。自身の考えを整理するだけでなく、他者の考えにも触れる機会となり、より倫理綱領を自分事として捉えるきっかけとすることができました。

III 重点取組項目 総括

1 建物老朽化対策と、ハード面整備による質の高い支援の実現

年度当初の予定通り、生活介護事業（さつき、まつぼっくり）の建物老朽化対策として、移転・建て替えの計画を進めました。令和8年度の国庫補助金の申請もし、まつぼっくり借地の空きスペースにさつきを移転新築し、まつぼっくりも同敷地内での建て替えの計画で固めました。また、さつきでは音や視覚に敏感な方の安定を図るため、可動式の遮音ブースを製作しました。不穏時等落ち着きやすい環境づくりを進めることができましたと思います。

2 地域活動支援センターの役割の再認識と機能分化

制度（指定サービス）の狭間を埋める機能、居場所や余暇を充実させていく機能、家から一步出るきっかけになる機能を自覚し、内容を検討しながら進めてきましたが、想定したような成果を実感することができませんでした。今一度、多角的に地域ニーズの把握に努め、担うべき役割の明確化とその体現をする具体的取り組みの立案と同時に、地域への発信力も高めていけるよう検討を続けていきます。

3 人材育成に向けた取り組み

新しい人事考課制度に基づき、評価を行いました。実運用から見える成果、または課題が明らかになったので、今後より良い仕組みにしていくようブラッシュアップを続けていきます。また、E ラーニングシステムを活用したキャリアパスに連動させた研修パッケージを完成させ、試運用を始めました。令和8年度から本格運用に向けて、準備を整えました。

4 自立支援協議会をはじめとした地域活動への積極的関与

計画通り、浜松市障がい者相談支援センターについて、浜北エリアと天竜エリア運営の共同企業体に参画し、それぞれに相談員を1名ずつ派遣しました。放課後等デイサービス連絡協議会の副会長、相談支援専門員連絡会の浜北・天竜エリアリーダー、生活介護事業所連絡協議会の浜北特支エリア担当役員を担うなど、地域活動や各種地域団体に単に所属するだけでなく、積極的に参画し、主体的な活動を行うことができました。

IV 事業内容と利用者実績

事業名	定員	目標値 (人/日)	実績 (人/日)	目標 達成率	稼働率 (定員対比)
就労移行支援（ライム）	6	1.0	0.0	0.0%	0.0%
就労継続B型（ライム・なないろカフェ）	24	23.0	21.8	94.8%	90.8%
生活介護（さつき）	20	19.1	19.0	99.5%	95.0%
生活介護（まつぼっくり）	20	11.0	11.1	100.9%	55.5%
生活介護（るるる）	10	10.0	9.1	91.0%	91.0%
就労継続B型（ららら）	10	9.0	8.3	92.2%	83.0%
放課後等デイサービス	10	9.0	8.6	95.6%	86.0%
日中一時支援	7	4.0	3.1	77.5%	44.3%
地域活動支援センター	(20)	11.0	8.9	81.0%	—
特定相談	—	60.0	54.3	90.5%	—
浜松市障害者相談支援事業	※浜北・天竜障がい者相談支援センターへ相談員派遣				

V 職員体制（R8 年 3 月 31 日現在）

（ ）内は、指定配置基準常勤換算数

	多機能事業所ループ		多機能事業所ループ奏		生活介護	生活介護
	就労移行	継続 B 型	生活介護	継続 B 型	さつき	まつぼっくり
管理者	1	(1)	1	(1)	1 (1)	1 (1)
サービス管理責任者	1	(1)	1	(1)	1 (1)	1 (1)
就労支援員	1(1)	—	—	—		—
生活支援員/職業指導員	0.3(0.1)	6.4(3.7)	—	1.5(1.4)		—
生活支援員			5.0(3.6)		8.0(7.2)	3.3(1.9)
目標工賃達成指導員	—	1.0(1.0)	—	1.4(1.0)		—
合計	1.3(1.1)	7.4(4.7)	4.0(2.0)	2.9(2.4)	9.0(8.2)	3.3 (1.9)

放課後デイサービスあざみ	
管理者（兼務）	1 (1)
児童発達支援管理責任者	1 (1)
児童指導員等	5 (2)

特定相談ぼるた	
管理者（兼務）	1 (1)
相談支援専門員	2 (2)
事務担当	1 (0.6)
浜松市障がい者相談センター	
相談員派遣	2 (2)

地域活動支援センター	
管理者（兼務）	1 (1)
活動支援員	3 (3)
日中一時支援あるば	
管理者(兼務)	1 (1)
児童指導員	2

VI 資金収支・財務状況

1 資金収支予算対比

（ ）内は、令和 7 年度当初予算

単位：千円

	収入	支出	収支差額
事業活動による収支	314,019 (300,784)	281,626 (283,246)	32,393 (17,538)
施設整備等による収支	1,550 (1,180)	27,062 (25,128)	△25,512 (△23,948)
その他の活動による収支	33,000 (0)	33,469 (442)	△469 (△442)
当期資金収支差額	—	—	6,412 (△7,451)

2 資産・負債の推移

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	6・7年度対比
流動資産	127,023	130,038	139,531	9,493
固定資産	288,311	279,072	279,876	805
資産合計	415,334	409,110	419,408	10,298
流動負債	42,823	33,823	25,514	△8,309
固定負債	123,513	110,325	110,780	455
負債合計	166,337	144,148	136,295	△7,853
純資産	248,997	264,961	283,113	18,152

VII 寄付金、補助金、助成金の状況

寄付金、寄付物品		
計 4 件	298,126 円	※すべて、理事長決裁で受領
補助金		
静岡県	1,257,308 円	福祉人事確保・職場環境等改善等補助金
静岡県	262,000 円	物価高騰対策支援金（障害分）
助成金		
活木活木森ネットワーク	251,000 円	借入金金利分助成（本部拠点静岡銀行分）
静岡県共同募金会	1,550,000 円	弁当事業 業務用冷蔵庫

VIII 施設整備、大規模修繕、固定資産整備

事業所名	種別	金額（円）	詳細	財源
本部拠点	なし			
ループ	固定資産	181,423	作業棟エアコン取り換え	自己資金
	固定資産	2,096,116	弁当事業 業務用冷蔵庫	助成金+自己資金
ループ奏	なし			
さつき	固定資産	532,510	可動式遮音作業室作製	自己資金
	固定資産	6,409,500	施設整備計画に係る費用	自己資金
まつぼっくり	固定資産	4,474,150	施設整備計画に係る費用	自己資金

IX 借入金及び借入金償還実績

借入先	当期償還額(円)	利息(円)	利息補給(円)	当期末残高(円)	用途
福祉医療機構	6,072,000	507,133	0	50,094,000	本部拠点建物新築工事
静岡銀行	3,816,000	244,984	251,000	10,480,000	
静岡銀行	3,480,000	555,136	0	46,570,000	ループ奏新築工事

X 生産活動

ループ	項目	実績値 (円)	計画値 (円)	目標達成率
ループ	弁当	24,913,581	19,500,000	128.8%
	喫茶（なないろカフェ）	6,859,845	7,000,000	98.1%
	下請け	1,658,014	2,000,000	82.9%
	刺繍タオル	70,785	200,000	35.4%
	計	33,552,225	28,700,000	116.9%
ループ奏	下請け	1,487,441	1,700,000	87.5%
	天竜高校購買部	664,216	500,000	132.8%
	ウェルフェアマート	800,582	500,000	155.5%
	計	2,932,237	2,700,000	107.8%
さつき	下請け	1,272,873	1,000,000	127.3%
	おからクッキー	1,351,767	1,400,000	96.6%
	ウェルフェアマート	633,784	0	—
	計	3,258,424	2,400,000	135.8%
まつぼっくり	パン・クッキー・ラスク	6,886,288	7,000,000	98.4%
	下請け	97,537	0	—
	その他	0	25,000	—
	計	6,983,825	7,025,000	99.4%

XI 会議

1 理事会

日時・回	内容
5月31日（土） 第1回理事会 （定時理事会）	議決事項 1、令和6年度事業報告および決算報告・監事監査報告 2、次期、理事・監事の候補者選定について 3、令和7年度 第2回理事会招集通知の省略について 4、評議員会付議事項について 5、役員賠償保険の加入について 報告事項 1、理事長業務執行報告

		2、令和6年度福祉充実残額について 3、まつぼっくり・さつき改築移転計画進捗報告
6月19日（木） 第2回理事会 （臨時理事会）	議決事項 報告事項	1、理事長の選定について 2、業務執行理事の選定について 1、令和6年度第1回評議員会開催報告
11月27日（木） 第3回理事会 （定時理事会）	議決事項 報告事項	1、令和7年度1次補正予算 2、育児・介護休業等に関する規則の変更について 3、特定相談支援事業所ぽるた運営規程の変更について 1、理事長業務執行報告 2、定期監事監査報告 3、まつぼっくり・さつき 改築移転計画
3月19日（木） 第4回理事会 （定時理事会）	議決事項 報告事項	1、令和7年度2次補正予算について 2、令和8年度事業計画について 3、令和8年度当初予算について 4、施設設備整備積立金取崩について 5、公益通報者保護に関する規程の策定 6、評議員会付議事項について 1、理事長・業務執行理事業務執行報告 2、まつぼっくり・さつきの施設整備計画の進捗について 3、障害福祉サービス事業者等の運営指導の実施結果について （さつき、あざみ、ループ、ループ奏）

2 評議員会

日時・回	内容
6月19日（木） 第1回評議員会	議決事項 1、令和6年度計算書類及び財産目録の承認 2、理事：監事の選任について 報告事項 1、令6年度事業報告及び監事監査報告 2、社会福祉充実残額の計算結果について
3月28日（木） 第2回評議員会	議決事項 なし 報告事項 1、令和7年度第2次補正予算について 2、令和8年度事業計画について 3、令和8年度当初予算について 4、規程の変更について 5、まつぼっくり・さつき改築移転計画進捗について 6、障害福祉サービス事業所等の運営指導の実施結果について さつき、あざみ、ループ、ループ奏

3 経営会議

日時・回	内容
4月28日（月） 第1回	1、月次報告 2、職員の手当について 3、R6年度決算について 4、入職者の処遇について 5、組織体制について
5月28日（水） 第2回	1、月次報告 2、理事会の内容・準備について 3、消費税の取扱いについて 4、サイバー保険について
6月27日（金） 第3回	1、月次報告 2、障害福祉人材確保・職場環境改善等事業費交付金について 3、消費税本則課税に向けて
7月25日（金） 第4回	1、月次報告 2、育休職員の復帰後の勤務について 3、さつきの苦情について 4、業務委託契約とAI活用について
9月5日（金） 第5回	1、月次報告 2、11月の最低賃金改定に向けて 3、人員体制の確認と見通し 4、今後の経営会議参加メンバーと内容について 5、施設整備計画について 6、地域活動支援センターの車輛について 7、次回理事会について
10月2日（木） 第6回	1、月次報告 2、人員体制の確認と見通し 3、施設整備計画について 4、運営指導状況確認 5、前期人事考課進捗共有
11月11日（火） 第7回	1、月次報告 2、補正予算内容確認 3、理事会準備・進捗共有 4、中・長期計画にの立案について 5、新入職者の処遇について
1月9日（金） 第8回	1、月次報告 2、施設整備計画について 3、次年度年間スケジュールについて
2月5日（木） 第9回	1、月次報告 2、次年度体制について 3、公益通報保護規程の設置について 4、令和7年度障害福祉従事者処遇改善緊急支援事業費補助金について 5、施設整備計画について
3月4日（水） 第10回	1、月次報告 2、次年度体制について 3、理事会・評議員会について

4 施設長会議

日時・回	内容
4月7日（木） 第1回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設長の今年度の所信表明 4、統括管理責任者より 5、今年度の施設長会議の運営について
5月7日（水） 第2回	1、月次報告 2、委員会報告 3、表記のルール化について 4、事業所フェアについて 5、経理フローにおける職務分掌について 6、ネットワーク応援制度について 7、浜名高校購買部の運営について 8、「みどりの樹 電話対応のこころえ」の設置について
6月2日（月）	1、月次報告 2、委員会報告 3、ふれあいレク大会・表彰大会について

第3回	4、チャレンジ to インクルーシブへの参加について 5、今年度法定研修受講者選定
7月7日（月） 第4回	1、月次報告 2、委員会報告 3、ボランティアの受け入れについて 4、永年勤続表彰者の確認
8月4日（月） 第5回	1、月次報告 2、委員会報告 3、庶務ストアとの業務委託契約について 4、福利厚生活動（アタゴフィールド BBQ）について 5、職員体制について
9月4日（月） 第6回	1、月次報告 2、委員会報告 3、人員体制について、新規採用について 4、人事考課制度における評価取り組みについて
10月6日（月） 第7回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設整備計画進捗共有 4、さつき運営指導報告 5、階層別 E ラーニング研修の実装について
11月10日（月） 第8回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度体制の見通しについて 4、ガルーンメッセージ機能の使い方について 5、本部西隣の土地について 6、照個屋について
12月1日（月） 第9回	1、月次報告 2、委員会報告 3、施設整備計画進捗共有 4、みらいトーク学習支援の受入れについて 5、次年度体制の見通しについて
1月7日（水） 第10回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度体制の見通しについて 4、合同クリスマス会の振り返り・反省 5、年次有給休暇の取扱いについて
2月2日（月） 第11回	1、月次報告 2、委員会報告 3、法人内虐待防止研修について 4、法人内写真データ収集および保管ルールについて 5、育児休業中の連絡業務フローの整備・確認
3月2日（月） 第12回	1、月次報告 2、委員会報告 3、次年度体制の確定 4、次年度委員会組織体制、イベント担当者について 5、次年度の年化予定について 6、次年度事業計画書の作成について

5 法人全体会議

日時・回	内容
6月18日（水） 第1回	1、理事会報告(決算報告) 2、「倫理の輪を広げよう！アクションプラン〜りんりとあゆむ10か月」説明会
12月10日（水） 第2回	1、理事会報告 2、新入職員紹介 3、理事会報告（第一次補正予算） 4、育児・介護休業に関する規則の変更について 5、ぼるた運営規則の変更 6、さつき・まつぼっくり施設整備進捗報告 7、照個屋について
3月18日（水） 第3回	1、理事会報告 2、「公益通報者保護に関する規程」について 3、各協定代表者の選出について 4、まつぼっくり・さつき施設整備進捗報告 5、さつき「ふたり旅」報告

XII－① 委員会活動

委員会	実施日	内容・実績
研修	5/23、6/20、7/18、8/22、9/26、10/17、 11/25、12/19、1/23、2/19、3/12、4/17	・法人全体研修の企画・立案 ・事例検討会の実施 ・外部研修報告動画作成依頼
防災	5/13、6/10、7/23、8/18、9/9、10/14、 11/4、12/9、1/13、2/20、3/18、4/14	・法人全体防災訓練実施 ・救急講習実施 ・定期安否報告訓練実施 ・BCP 見直し
コンプライアンス	5/20、6/10、7/15、8/18、9/24、10/21、 11/14、12/17、1/20、2/17、3/17	・倫理綱領の浸透および実践「りんりとあゆむ」 ・ヒヤリハット報告の集計と検証 ・苦情解決についての実態把握 ・浜松市ワークライフバランス等推進事業所認定 ・ストレスチェックの実施 ・ほっとラインの運営
広報	4/15、5/15、6/19、7/17、8/21、9/18、 10/23、11/20、12/18、1/21、2/19、3/19	・みどりの樹つうしん「わだち」作成・管理 ・名刺、名札の作成 ・HP 管理、更新
虐待防止	7/7、3/6 3/14 虐待防止研修開催	・通報、通報対応マニュアルの周知について ・虐待防止研修企画・運営
身体拘束の適正化	7/7	・指針の読み合わせ ・法人内実務における「適正化」の理解促進
感染症対策	6/2、9/4、12/1	・指針の読み合わせ ・食中毒の予防について、検便について ・感染症対策の研修企画・運営

XII－② ワーキンググループ活動

委員会	実施日	内容・実績
施設整備計画	ガルーン内のスペースでのやりとり 他経営会議にて共有 さつき・まつぼっくり各々月1回 ランドデザインと打ち合わせ	・市の施設整備審査会への対応 ・融資相談 ・国への施設整備計画協議書作成 ・各所の平面図作成のための協議
強行支援推進	6/3、9/2、11/26、1/27	・計画シート等必要な書類を作成し、加算を取得要件に足る状況を確認、実施
M ラーニング 企画運営	4/24、5/28、9/4、10/15、12/16、1/8、 2/4、2/16、2/21、3/24	・M ラーニング発表報告会の企画、準備 ・M ラーニングの取り組みのフォロー ・2/21 M ラーニング発表報告会運営

Special Learning 管理	4/10、6/24、8/6、9/5、9/26、1/13	・ Special Learning を活用した研修企画、実施 ・ サポーターとの打合せ ・ 階層別研修パッケージ作成、進捗管理
------------------------	-----------------------------	--

XIII 研修実施・受講状況

1 内部研修実施状況

研修名	実施方法	実施日	参加者
虐待防止研修	参集（講義・演習）	3月14日	全職員
救命講習	参集（講義・演習）	3月14日	全職員
安全運転講習	参集（講義・演習）	3月14日	全職員
職員全体研修（防災について）	参集（講義・演習）	2月25日	全職員
事例検討会	参集	8、10、12、2月	常勤職員
身体拘束等の適正化のための研修	動画視聴	3月1日～31日	全職員
感染症対策研修①②	動画視聴	10月1日～31日	全職員
階層別 E ラーニング	動画視聴	11月～3月	全職員
外部研修受講報告（カスハラ、AI）	動画作成	—	全職員

2 外部研修受講状況（主要なものを抜粋して記載）

研修名	実施主体	参加者
サービス管理責任者等基礎研修	静岡県	2名
サービス管理責任者等更新研修	静岡県	1名
専門コース別研修（児童・ベシック）	静岡県	1名
静岡県虐待防止研修（管理者コース）	静岡県	1名
静岡県虐待防止研修（マネージャーコース）	静岡県	1名
強度行動障害支援者養成研修（基礎・実践）	静岡県	2名
新 Instagram 集客論	静岡県社会福祉協議会	2名
新任介護・福祉職員職場定着促進研修	静岡県社会福祉協議会	2名
福祉現場のカスタマーハラスメント対応講座	静岡県社会福祉協議会	1名
危険箇所点検から始める施設のリスク管理	静岡県社会福祉協議会	1名
いよいよ始まる「就労選択支援事業」研修会	静岡県就業・生活支援センター連絡協議会	1名
静岡県児童発達支援子どもフォーラム	静岡県知的障害者福祉協会	2名
静岡県精神保健福祉士協会課題別研修	静岡県精神保健福祉士協会	6名
精神障がいを理解するための研修会（基礎）	浜松市	2名

精神障がいを理解するための研修会（実践）	浜松市	2名
ピアサポート勉強会	浜松市	1名
当事者家族の声を聞く	浜松市自立支援協議会	3名
作業所連合会・わ 施設長研修	特非）静岡県作業所連合会・わ	3名
作業所連合会・わ 西部地区職員研修	特非）静岡県作業所連合会・わ	5名
作業所学会	特非）静岡県作業所連合会・わ	1名
作業所連合会・わ 新任職員研修	特非）静岡県作業所連合会・わ	4名
静岡フォーラム	特非）静岡県作業所連合会・わ	1名
その他		

XIV 監事監査実施状況

監査内容	実施日	監査内容、担当監事
令和7年度決算監査	令和7年5月16日（金） 予算超過が認められたため原因究明とその対策	会計監査：山崎陽司 業務監査：遠山秀敏
令和7年度定期監査	令和7年11月11日（火） （指摘事項なし）	事業計画進捗、ループ奏実地 拠点監査：山崎陽司 業務監査：遠山秀敏

XIV 地域における公益的取り組み

企画名：令和7年度 照個屋「結」

と き：令和7年10月11日（土）

場 所：なゆた浜北1階アーケード及び3階なゆたホール

内 容：地域交流イベント（ステージ、物販、ワークショップ）

来場者：約300人

本年度の「照個屋」は、テーマに「結～むすぶ～」を掲げ、昨年に引き続き浜北駅に隣接する「なゆた・浜北」にて開催いたしました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、キッチンカーを1階に、ステージ催事を3階なゆたホールへと会場を移して実施いたしました。急なレイアウト変更にもかかわらず、約300人の地域住民の方々に足をお運びいただき、会場は終始温かな熱気に包まれました。

ステージでは、地元ラジオで活躍中のアナウンサーとお笑い芸人による軽妙なトークライブや、地元出身の大道芸パフォーマーによる躍動感あふれる演技が披露されました。また、「出世大名家康くん」「出世法師直虎ちゃん」の登場に子どもたちの歓声が上がリ、障がいの有無や世代を超えて、人と人が「結ばれる」交流のひとつとなりました。

公共性の高い駅前での継続開催は、単なる障がい福祉への啓発に留まらず、多様な「個」が地域と深く結びつき、互いに認め合える社会づくりの一助となったと確信しています。

併せて、多機能事業所ループ奏では、毎週水曜夜間の学習支援の会場として建屋の提供を継続しています。

XVI 苦情・ヒヤリハット・事故状況

1 苦情受付と結果

4月14日	職員の支援内容について（ご本人）	4月14日 解決済	ループ奏（ららら）
4月24日	利用者間のやりとりについて（ご本人）	4月29日 解決済	ループ奏（ららら）
5月24日	職員の支援内容について（ご本人）	5月30日 解決済	はまきた地活
6月11日	職員の支援内容について（ご本人）	6月25日 解決済	はまきた地活
7月3日	授産製品の販売について（授産製品購入者）	8月31日 解決済	さつき
7月7日	職員の支援内容について（ご本人）	7月11日 解決済	はまきた地活
7月17日	職員の支援内容について（ご家族）	9月1日 解決済	さつき
8月6日	職員の支援内容について（ご家族）	8月6日 解決済	ループ（ライム）
8月12日	職員の支援内容について（ご家族）	8月13日 解決済	はまきた地活
9月1日	職員の支援内容について（ご家族）	9月19日 解決済	さつき
11月26日	職員の支援内容について（ご家族）	12月4日 解決済	あざみ
12月18日	授産製品について（授産製品購入者）	12月27日 解決済	まつぼっくり

2 ヒヤリハット報告

レベル0	間違った事が実施される前に気づいた	17
レベル1	間違った事が実施されたが、利用者等には変化がなかった	361
レベル2	利用者等に変化が生じ、一時的な観察が必要となったが、治療・対処の必要がなかった	122
その他	他への苦情や、勘違い、利用者間トラブル等	1
合計		501

3 事故報告

レベル3a	事故のため一時的な治療・対処が必要となった	16
レベル3b	事故のため継続的な治療・対処が必要になった	16
レベル4a	事故により長期にわたり治療・対処が続く	2
レベル4b	事故による障害が永続的に残った	0
レベル5	事故が死因となった	0
その他	他への苦情や、勘違い、利用者間トラブル等	2
合計		36

● 多機能事業所ループ

I 総括

今年度の事業概況について、施設利用面では利用者数が横ばいで推移し、当初予測に対し停滞傾向が見られました。一方で、お弁当事業は新規顧客からの問い合わせが相次ぎ、受注個数が大幅に伸びました。設備面においては、厨房機器の経年劣化への対応として、ライムでは業務用冷蔵冷凍庫の更新および弁当箱の追加購入を実施。なないろカフェではIH調理器の購入や冷蔵冷凍庫の修理を行い、生産体制の維持・強化を図りました。また、令和6年度より開始した業務用ミシンによる刺繍製品づくりについては、作業工程の習得や進捗管理に課題が残り、当初の計画通りには進みませんでした。しかしながら、アタゴフィールズ様より受注したオリジナルTシャツやパーカー、なないろカフェで販売するオリジナルタオルの製作を完遂するなど、新たな挑戦に向けた着実な一歩を踏み出すことができました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

就労移行支援

今年度は利用希望、登録なく1年が過ぎました。利用希望者があった場合、ライム内での作業訓練を基軸に生活リズムの安定を図りながら、あいさつ・返事・報告などから職業スキルの習得に向け丁寧にかかわっていききたいと思います。

就労継続支援B型（ライム）

・利用者支援について

利用者一人ひとりが積極的に作業に取り組むことができるよう、興味のある作業、得意な作業を役割として割り当てたり、作業の幅を広げ、得意不得意を知ることができるように事業所内の新たな作業に挑戦する機会を作ったりしました。お弁当事業では、地域の事業所や近隣の小中学校から想定を上回る受注があり、長期休み前後の繁忙期には、調理場と作業場の連携を強化。割りばしの準備といった周辺作業を作業場側で分担することで、事業所全体で一致団結して対応することができました。

・地域のつながりについて

昨年度同様地域のイベントに積極的に参加するとともに、事業所に地域の方々を招き、交流会を開催しました。交流会では利用者一人ひとりが役割を持ち、地域のみなさまと交流を深めることができました。

就労継続支援B型（なないろカフェ）

・利用者支援について

普段携わっている作業の見直し・改善をしていきました。接客での言葉遣い、使用しているレジやオーダー票、調理の手順等、一人ひとりにフォーカスを当ててヒヤリング。見えてきたのは利用者の作業に対する真剣さや、頑張りたいという意欲。多くの提案と思いを知り、受け止めながらブラッシュアップしていきました。これを機に利用者から自然と、提案が増えてきたと思います。今後も耳を傾けながら、続けていきます。

お店に関しては、季節に合った商品展開を意識して品数を増やしたこと、前年度に比べて放課後等デイサービスの貸し切り予約以外にも、一般団体の予約を多くいただくことができました。SNS（Instagram）を見て来店した、限定メニューを食べに来たという声が増えてきました。少しずつ可能性が広がっていると自負しています。

・地域とのつながりについて

イベント時での企画・特別営業を通してお客様、他団体との交流を深めることができました。

III 行事、防災訓練実施等

4月	なし
5月	飛竜まつり
6月	ふれあい広場、浜北合同スポーツ大会
7月	プチイベント(七夕)、防災訓練(地震・火事想定)
8月	かき氷をつくろう、大掃除、暑気払い
9月	ふれあいレクリエーション大会、ダダ納涼会、ループ交流会
10月	照個屋、ループ日帰り旅行、厚生会まつり、ふれあいコンサート、プチイベント(ハロウィン)
11月	聖灯祭、浜名協働センターまつり、はるの産業まつり、友愛のさとまつり、法人全体防災訓練
12月	法人クリスマス会、天竜センター主催イベント、大掃除、
1月	新年会をしよう
2月	プチイベント(節分)、ライムでバイキング
3月	ループ保護者会、防災訓練(水害想定)、なゆたフリーマーケット、おつかれさま会

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
弁当	24,913,581 円	19,500,000 円	128.8%
喫茶(なないろカフェ)	6,859,845 円	7,000,000 円	98.1%
下請け	1,658,014 円	2,000,000 円	82.9%

刺繍タオル	70,785 円	200,000 円	35.4%
合計	33,552,225 円	28,700,000 円	116.9%

2 工賃支払実績

	就労継続支援 B 型		就労移行支援	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
6 年度	8,134,522 円	30,933 円	0 円	0 円
7 年度	8,081,020 円	30,902 円	0 円	0 円

V 利用者状況

事業	稼働日	就労移行			就労継続支援 B 型			ループ計		
月別		延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4 月	22	0	0.0	0.0%	506	22.8	95.1%	506	22.8	78.9%
5 月	21	0	0.0	0.0%	483	22.3	92.9%	483	22.3	71.3%
6 月	22	0	0.0	0.0%	506	22.2	101.0%	506	22.2	74.9%
7 月	23	0	0.0	0.0%	529	22.1	92.0%	529	22.1	72.6%
8 月	20	0	0.0	0.0%	460	21.1	87.7%	460	21.1	68.4%
9 月	22	0	0.0	0.0%	506	21.8	90.9%	506	21.8	73.8%
10 月	23	0	0.0	0.0%	529	22.6	94.0%	529	22.6	75.5%
11 月	21	0	0.0	0.0%	483	20.2	84.3%	483	20.2	69.4%
12 月	22	0	0.0	0.0%	506	21.6	90.0%	506	21.6	72.9%
1 月	21	0	0.0	0.0%	483	21.8	90.9%	483	21.8	73.0%
2 月	20	0	0.0	0.0%	460	21.0	87.3%	460	21.0	75.8%
3 月	22	0	0.0	0.0%	506	21.5	89.8%	506	21.5	77.5%
合計	259	0	0	0.0%	5,957	21.8	90.7%	5,957	21.8	73.7%

● 多機能事業所ループ奏

I 総括

一昨年度に行った新しい取り組みを継続、定着させる一年でした。ご利用者の皆様も活動に慣れ、奏という環境の中で安心して活動に取り組めていました。

多方面から見学や実習、空き状況の問い合わせのご連絡をいただきました。他事業所から見学のお話もいただき、奏をより深く知っていただける機会を多くいただきました。ご利用に関するご要望に応えることが難しいこともあります、出来るだけニーズに応じていける仕組みを整えてまいりたいと思います。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

・利用者支援について

今年度も昨年度同様、職員会議の充実や、生活介護、就労継続支援 B 型の垣根を無くし、奏としてお互いの存在を認めあえる関係の構築に努めました。利用者の事をより深く知る事で声掛けの質の向上、気になることをすぐに職員で共有できる為、更に安心できる場・活気あふれる奏になってきております。

生活介護（るるる）

今年度は今まで「作業の時間」として利用者の皆様にお伝えしていた所を「活動の時間」を活動の時間と名称を変え、やりたいことを応援する時間として意識を変えて活動に取り組みました。基本的には作業を選択される方が多かったですが、本人の「やりたい事」に耳を傾ける良い機会になりましたし、時折「〇〇がしたいです」と今の気持ちを教えてくださる方も居り、ご本人の安心できる環境になっていると当時に職員としては新しい発見でもある良い取り組みとなりました。

作業を頑張ることにより、達成感や工賃がたくさんもらえる事への喜び、ご家族と喜びを共有できる嬉しさ等、様々な良い影響がある事を学び、やりがいに繋がっている方も多く見受けられました。

就労継続支援 B 型（ららら）

個別支援計画の目標を日頃の活動の中で意識出来るよう具体的にお示ししました。繰り返し声をかけていく事により習慣化し、自分で行う事、出来る事が増えていきました。

るるとららら、同じ奏で活動をしている人としての意識を持っていただき、互いに協力し合う、声をかける事により、昨年度は戸惑う部分も多くありましたが、今年度はチームワークが育まれ、より主体性を持って活動が出来ていると感じる部分が多くありました。

・地域とのつながりについて

初めて地域防災に参加させていただきました。自治会長様より奏のご紹介も地域の皆様に丁寧にいただき、奏を知っていただく良い時間になりました。毎朝、天気の良い日はお散歩に出かけ、すれ違う地域の方とあいさつを交わしました。北浜南小学校様や南部協働センター様に機関誌わだちの配布にも行き、「いつもありがとうね」とわだちを受け取っていただきながら優しく声をかけていただきました。

Ⅲ 行事、防災訓練実施等

4月	外出（ガーデンパーク）
5月	工作活動
6月	合同スポーツ大会 防災訓練（地震）
7月	外出（中田島砂丘散策）
8月	夕涼み会 大掃除 カラオケ 映画鑑賞
9月	ふれあいスポーツレクリエーション大会 遊覧船
10月	ふれあいコンサート 室内スポーツ
11月	ナイスハートふれあいのスポーツ広場浜松大会2025 元気ライブ 防災訓練（地震）
12月	日帰り旅行 地域防災訓練 法人クリスマス会 プチクリスマス会 保護者交流会 防災訓練（水害）
1月	初詣
2月	お菓子作り
3月	いちご狩り 避難訓練（火災）

Ⅳ 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請け	1,487,441	1,700,000	87.5%
天竜高校購買部	664,216	500,000	132.8%
ウエルフェアマート	777,680	500,000	155.5%
合計	2,909,337	2,700,000	107.8%

2 工賃支払実績

	ららら		るるる	
	工賃支払総額	平均月額	工賃支払総額	平均月額
6年度	1,394,846 円	13,464 円	467,560 円	3,542 円
7年度	1,263,369 円	12,933 円	329,990 円	4,077 円

V 利用者状況

事業		ららら (定員 10)			るるる (定員 10)			ループ奏 計 (定員 20)		
月別	稼働日	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比	延利用者数 (人)	1日平均利用者数 (人)	稼働率 ※定員比
4月	22	189	8.6	85.9%	201	9.1	91.4%	390	17.7	88.5%
5月	23	199	8.7	86.5%	195	8.5	84.8%	394	17.1	85.5%
6月	22	203	9.2	92.3%	203	9.2	92.3%	406	18.5	92.5%
7月	23	201	8.7	87.4%	214	9.3	93.0%	415	18.0	90.0%
8月	20	145	7.3	72.5%	168	8.4	84.0%	313	15.7	78.5%
9月	22	176	8.0	80.0%	197	9.0	89.5%	373	17.0	85.0%
10月	23	189	8.2	82.2%	207	9.0	90.0%	396	17.2	86.0%
11月	21	159	7.6	75.7%	195	9.3	92.9%	354	16.9	84.5%
12月	21	165	7.9	78.6%	202	9.6	96.2%	367	17.5	87.5%
1月	20	170	8.5	85.0%	190	9.5	95.0%	360	18.0	90.0%
2月	20	159	8.0	79.5%	186	9.3	93.0%	345	17.3	86.5%
3月	22	199	9.0	90.5%	187	8.5	85.0%	386	17.5	87.5%
合計	259	2,154	8.3	83.2%	2,345	9.1	90.5%	4499	17.3	86.5%

● 生活介護事業所さつき

I 総括

20名定員ですが一名は定員超過協議書を提出し、全21名で1日平均利用者数19名という目標を設定し、月によって多少の変動はありましたが年間で見るとほぼ達成することができました。すべての利用者が本人の通所のペースを乱すことなく来てくれたことは、さつきが日中過ごす場所として各々にとって意味のある場所になれていると判断しています。

7年度、新たな取り組みとして、これまで事業所全体で実施していた日帰り旅行に代えて、「ふたり旅」と称し、多種多様な個々の希望を叶えるために職員とマンツーマンで出かける形で実施しました。法人内のMラーニングでこの新たな取り組みについて、さつきとして発表する機会を通して振り返り、8年度も継続する方向で既に動き始めています。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

・利用者支援について

年度前半は、利用者が別の利用者に怪我をさせてしまう事故が続いてしまいましたが年度途中で職員体制を増員できたことにより、事故件数を減らすことができました。それでも限られた空間で21名の利用者が集団生活を送っているため、関係性や相性、こだわりなどにより日々トラブルに発展する危険性がありますが、環境面の配慮や職員が連携して対応することで防止に努めました。

楽しむ時間は欠かせないと考え、年間通して積極的に外出企画を考えたり、各種イベントに参加しました。日課の体操は発表の場であるふれあいコンサートに向けて取り組み、季節の行事では創作活動を充実させ、これまで以上に多くの利用者が参加しました。また、日課の中に作業する時間は必要と考えて行程を細分化し、各々のがんばり方を応援できるようにやる気を引き出したり、持っている可能性を見出すことに努めました。

・地域とのつながりについて

6年度最後に開始した近隣の企業内に無人の販売場所を設置する取り組み「ウェルフェアマート事業」に参画し、7年度は年間通して継続する中で毎月安定した売り上げで推移しました。また、地域防災訓練では障害者週間の啓発活動の一環で参加者に利用者と一緒におからクッキーを配布しました。

浜北やみをつくし、袋井といった近隣の特別支援学校から依頼のあった実習や見学を積極的に受け入れ、卒業の進路先として選んでいただけるように努めています。

・家族とのつながりについて

定期面談に加え、連絡ノートや送迎の引き渡し時を活用して利用者の日々の体調の様子や気になることを家族と相談しながら支援を行っています。また、保護者同士で情報交換できる場が欲しいという声に応えるために年2回、利用者は職員が対応している間に保護者交流会を開催しています。

III 行事、防災訓練実施等

4月	お花見、保護者会、志都呂のイオンとガーデンパーク
5月	さつきで映画とカラオケ、のんほいパーク、掛川花鳥園
6月	ふれあい広場、浜北合同スポーツ交流会
7月	七夕、小国神社散策とランチ、まつぼっくりとスポーツ
8月	浜名湖遊覧船&ランチ、ボーリング、夏祭り
9月	ふれあいレクリエーション大会、
10月	ふれあいコンサート、天竜厚生会まつり
11月	友愛の里まつり、はるの産業祭

12 月	地域防災、みどりの樹クリスマス会、お疲れ様会カラオケ
1 月	小國神社初詣
2 月	豆まきと鬼のお面作り
3 月	おひなさま作り、保護者交流会

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
下請け	1,272,873 円	1,000,000 円	127.3%
おからクッキー	1,351,767 円	1,400,000 円	96.6%
ウェルフェアマート	633,784 円	0 円	—
合計	3,258,424 円	2,400,000 円	135.8%

2 工賃支払実績

	工賃支払総額	平均月額
6 年度	1,254,265 円	4,997 円
7 年度	1,404,331 円	4,870 円

V 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼働日数	22	21	22	23	19	22	23	22	22	21	20	22	259
延利用者数(実績)	428	402	423	424	348	419	447	416	425	388	384	424	4928
1 日平均利用者数	19.5	19.1	19.2	18.4	18.3	19.0	19.4	18.9	19.3	18.5	19.2	19.3	19.0
稼働率(%)	97.5	95.5	96.0	92.0	91.5	95.0	97.0	94.5	96.5	92.5	96.0	96.5	95.0

● 生活介護事業所まつぼっくり

I 総括

昨年に引き続き、施設整備事業についてランドデザイン様と協議を重ねながら、平面図の作成を進めてまいりました。具体的な内容を検討する過程において、現在のまつぼっくりを客観的に見直す良い機会となり、将来の姿をより具体的に描くことができました。今後はより実現性の高い計画となるよう、シミュレーションを行いながら検討を深めてまいります。利用者さんに関しては、ご家庭の事情により退所された方や利用に到らなかった方もおり、安定した利用につなげることが難しい状況が続きました。一方で、後半見学希望者が徐々に増え、新規利用者1名の獲得につなげることができました。次年度に向けて、引き続き新規利用者の確保に向けた情報発信を継続してまいります。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

・利用者支援について

作業活動においては、昨年と同様に3ヶ月に一度新メニューを開発し、Instagramでの発信を行うことでお客様に喜んでいただくことができました。また、(株)ヤタロー様が運営する地産地消店舗における委託販売の開始や、(株)カインズ様主催のパンマルシェへの出店を通じて、地域の方にまつぼっくりの名称を知っていただく機会を創出することができました。さらに下請け作業を開始したことで、パン作業に参加できない利用者さんの作業機会の確保やモチベーションの向上につなげることができました。

また、写真、絵カードを活用し、ご本人が理解・納得できる仕組みづくりに取り組みました。また一日の予定や通常と異なる動きがある際には、その都度丁寧な説明を行い、情報保障に努めてまいりました。その結果、利用者さん自身が不明点を質問できる場面が増えてきていると感じています。

・地域とのつながりについて

近隣住民向けに新しい建物の説明会を開催し、自治会長を始めとする地域の方々と密なコミュニケーションを図ることができました。これにより、近隣のみなさまの理解を得ることができました。今後も、地域に必要とされる事業所を目指し、取り組みを継続してまいります。

III 行事、防災訓練実施等

4月	外出(フラワーパーク)
5月	保護者会、ヤマハ発動機労働組合お祭り
6月	日体祭、浜北合同スポーツ交流会、廃品回収&パン安売りデー
7月	外出(法多山)

8 月	外出（浜岡原子力館・なぶら市場）、夏祭り、大掃除&お疲れ様会
9 月	まつぼっくりカフェ、手話言語の国際デーイベント、西部ふれあいレクリエーション、 廃品回収&パン安売りデー
10 月	善地秋まつり、労福協まつり、ふれあいコンサート
11 月	中瀬協働センターまつり、北浜南部協働センターまつり、元気ライブ、健康診断、法人全体防災訓練
12 月	地域防災訓練、水害避難訓練、廃品回収&パン安売りデー、法人クリスマス会、大掃除&お疲れ様会
1 月	新年会、書き初め、初詣、福祉ふれあいフェスタ
2 月	節分、チョコフォンデュ作りとランチへ、下あたごふれあいセンターまつり
3 月	日帰り旅行、GH 見学ツアー、廃品回収&パン安売りデー

IV 生産活動

1 売上

事業内容	売上実績	売上目標	対比
パン・クッキー	6,886,288 円	7,000,000 円	98.4%
下請け	97,537 円	0 円	—%
その他	0 円	25,000 円	—%
合計	6,983,825 円	7,025,000 円	99.4%

2 工賃支払実績

	工賃支払総額	平均月額
6 年度	2,080,139 円	17,871 円
7 年度	2,220,673 円	16,439 円

V 利用者状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼働日数	22	21	22	23	19	22	23	21	23	21	20	22	259
延利用者数	263	251	255	264	211	239	237	207	228	225	224	264	2,868
1 日平均	12.0	12.0	11.6	11.5	11.1	10.9	10.3	9.9	9.9	10.7	11.2	12.0	11.1
稼働率(%)	59.8	59.8	58.0	57.4	55.5	54.3	51.5	49.3	49.6	53.6	56.0	60.0	55.4

● 放課後等デイサービス あざみ

I 総括

令和7年度においては、利用児童の体調不良に加え、ご家族が子どもと過ごす時間を大切にする意識の高まりもあり、稼働率の向上には至りませんでした。一方で、日々の振り返りミーティングや支援者会議を継続し、常勤・非常勤を問わず職員間の情報共有と支援の統一性の確保に取り組んだ結果、支援の質の向上については一定の成果が認められました。

本年度は、新たに強度行動障害児支援として、個別支援の在り方や環境調整について検討を重ねながら、計画書・手順書を作成し組織としての対応力向上に取り組みました。また、放課後等デイサービスとしての役割である「子どもの休息の場」の確保を重視し、本人の意思を尊重した支援の実践に努めました。

環境整備としては、古木の剪定、老朽化した施設の改修を実施し、安全な活動環境の維持に取り組みました。今後の課題として、強度行動障害児への専門的対応の強化、収益性向上に向けたIT化の推進、感染予防を含む安全計画の確実な履行が挙げられます。引き続き、職員一同で支援の質の向上に努めてまいります。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

個別支援計画においては、5領域とのつながりを明確化し職員間で支援内容を共有する体制づくりに取り組みましたが、意思疎通が難しい利用児が多いこともあり、十分に浸透したとは言えず、引き続き改善が必要な状況です。それでも、利用児が戸惑うことなく安定して過ごせるよう、統一的な支援の実施に努めました。また、その日の子どもの状況に合わせて集団活動（動の遊び）、リラックス、安定のための個別活動（静の遊び）のプログラムを組み合わせた支援を行ないました。さらに、散歩や園庭遊び、焼き芋・水遊びなど季節を感じる活動、外出先の「なないろカフェ」でのおやつタイムなどの社会体験を通して、子どもたちの興味や意欲の広がりを図りました。強度行動障害のある子どもへの支援については法人ワーキングを活用し質の向上に努めたましたが、今後も更なる工夫に取り組む必要があります。子どもたちの「やってみたい」「作ってみたい」という気持ちを尊重し、表現の楽しさや達成感につながる活動を行うとともに、ことばや身体の動きを通して気持ちを伝える力の育成を支援しましたが、個々の成長に応じた具体的な関わりをさらに広げていくことが課題として感じています。

家庭との連携では、お迎え時に児童の様子や小さな変化・成長を丁寧に伝え、家庭での状況を伺いながら支援内容を共有することで情報交換の充実を図りました。利用児全員が浜北特別支援学校に在籍していることから、日々の引継ぎや夏休み期間の情報共有を継続し、一貫した支援体制の維持に努めました。また、浜松市障がい児放課後支援連絡協議会の研修やeラーニングに職員が参加し、得られた知見を日常支援や職員間の振り返りに活用することで支援の質の向上を図りました。家族支援・兄弟支援・地域連携については、今後さらに取り組みを深めていく必要があると感じています。

Ⅲ 行事、防災訓練実施等

	行事	創作
4月	始まりの会	壁面飾り さくら
5月	こどもの日	ミニこいのぼり
6月	なし	壁面飾り あじさい
7月	たなばたまつり	七夕飾り
8月	なないろカフェでかき氷・夏祭り・出張駄菓子屋さん	壁面 花火、提灯
9月	お月見会	壁面 お月見
10月	ハロウィン	ハロウィン衣装・壁面
11月	焼き芋会	壁面 クリスマス飾り
12月	クリスマス会・交流カフェあざみ	壁面 クリスマス飾り
1月	なし	壁面飾り 鬼のお面
2月	豆まき	ひな祭り顔はめパネルと壁面写真
3月	ひな祭り 卒業生を送る会（焼き芋） 頑張りましたの会	壁面飾りさくら
毎月	避難訓練	

Ⅳ 利用者状況

1 月別利用者数（定員 10 名 登録者 14 名）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	22	25	24	26	22	25	26	24	24	24	23	24	293
延利用者数(実績)	210	212	218	239	184	212	229	207	224	206	173	209	2533
1日平均利用者数	8.4	8.5	9.1	9.2	8.4	8.5	8.8	8.6	9.3	8.6	7.5	8.7	8.6
稼働率(%)	84.0	84.8	90.8	91.9	83.6	88.1	88.1	86.3	93.3	85.8	75.2	87.1	86.5

2 曜日別利用者数

曜日	月	火	水	木	金	土・祝日	合計
年間日数(日)	47	48	49	50	48	51	293
年間利用者延入(人)	416	464	470	459	505	219	2533
平均利用者数(人)	8.8	9.6	9.5	9.1	10.5	4.2	8.6

3 学年別利用者数

学年	浜北特別支援学校	市立特別支援学級
小学1年～3年	5名	0名
小学4年～6年	4名	0名
中学生	3名	0名
高校生	2名	0名

● 日中一時支援事業 あるば

I 総括

浜松市の地域生活支援事業として委託を受け、放課後等デイサービスおよび日中一時支援事業を一体的に運営し、日中一時支援では、保護者のレスパイトを支援し、柔軟な利用環境を整えました。また、放課後等デイサービスと連携し、受給者証の支給決定日数を超える支援が必要となった場合には、柔軟に対応できる体制を整えることで、各家庭のニーズに沿った支援をしてきました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

子どもたちが戸惑わず安心して過ごせるよう、集団活動（動）と個別活動（静）をその日の状態に応じて柔軟に組み合わせました。散歩や園庭遊び、焼き芋・水遊びなど季節の自然体験も取り入れ、落ち着いて過ごせる環境づくりに努めました。また、外出先の「なないろカフェ」でのおやつタイム等、社会体験も行いました。ご家族にはお迎え時の丁寧な情報共有に努めました。全児童が浜北特別支援学校に在籍していることから、日々の引継ぎや長期休暇中の情報共有を継続し、関係機関との連携を途切れさせない体制を維持しました。重点目標では、「やってみたい・作ってみたい」という気持ちを尊重し、表現の楽しさや達成感を味わえる活動を広げるとともに、自分なりの方法で気持ちを伝える力や場面に応じた言葉の習得を支援しました。また、子どもたちの良さや努力を意識的に認め、言葉がけにも配慮しながら気持ちが不安定にならないよう丁寧に関わりました。さらに、保護者同士がつながる交流の場を設け、相談支援専門員など関係機関との連携を重ねることで、支援の質の向上と安心して子育てできる環境づくりに取り組んだ一年となりました。

III 行事、防災訓練実施等

行事や防災訓練の実施は、放課後等デイサービスあざみと一体的に行っているため、あざみ参照。

(P24)

IV 利用者状況

1 月別利用者数 (定員 7 名 登録者数 15 名)

(定員 7)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計
稼働日数	25	26	24	26	23	25	26	24	24	24	23	24	294
延利用者数	85	96	84	82	56	81	81	73	73	72	66	62	1333
1 日平均	3.4	3.7	3.5	3.2	2.4	3.2	3.1	3.0	3.0	3.0	2.9	2.6	3.1
稼働率 (%)	48.6	52.7	50.0	45.1	34.	46.6	44.5	43.5	43.5	42.9	41.0	36.9	44.3

2 サービス併用状況

あるばのみ利用	4 名	固定した曜日に利用
あざみ・あるば併用	4 名	あざみ主、支給超え時あるば利用
あざみ・あるば・他放デイ利用	0 名	あざみ月～土、日曜他放デイ利用
他の放デイを主に利用	3 名	他放デイ休日に利用(土、祝)

● はまきた地域活動支援センター

I 総括

今年度はなないろカフェからみどりの樹本部へ主な活動拠点を移しました。利用者が地活を利用しやすいよう浜北駅発着の送迎も運行しましたが、平均参加人数は昨年度までなないろカフェで活動していたときよりも減少しました。また運営面では活動場所が本部に変わったため、ぼるたや法人事務局との連携・連動性も意識しました。地活として利用者の地域生活を支えていくために、法人内外の関係機関先へ利用者の様子を共有し、助言をもらうなどの連携も大切にしました。

利用者みなさんは、それぞれの過ごし方で地活での時間を楽しまれました。特に毎日のプログラムを楽しむに來られる知的障がい、発達障がいの方々の利用が多かった印象です。ゆっくりとした時間のなかで人との交流を求めたい方々へのプログラムも継続をしましたが、想定していた数の参加者は見込まれませんでした。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

午前の活動

少人数で落ち着いた雰囲気を活かし、「まずは参加してみよう」と安心して来所できる活動場所を提供しました。参加する方々とコミュニケーションをとるなかで、地活で「どのように過ごしたいか」「何をしたいか」

など、地活に対する個々のニーズに応えるため努力を続けていきました。

午前の地活については障がい者相談支援センターを中心に、必要な方へ周知をされているはずですが、参加人数は一日あたり１名から２名とごく少数です。今後の午前の地活のあり方、運営について課題がみられました。

午後の活動

昨年度と同様月一回ミーティングを行い、利用者の声を聴くことを大切にしていきました。特に土曜日の活動では外食体験を希望する声が多かったため、外出と合わせて外食に行くことが多かったです。なるべく利用者の行きたい、やりたいことをできる限り実現できるよう、利用者、地活に係る職員と話し合いを重ねていきました。

利用者個々の事情や特性もあり、以前の地活から雰囲気が変わってきています。必要なところは踏襲しつつも、地活の内容や運営の仕方に少しずつ変化をもたせていくことの必要性も感じた一年でした。

III 行事、防災訓練実施等

創作活動	社会との交流促進	日常生活に必要な便宜を供与することに関する業務	医療福祉及び地域の社会基盤の連携強化のための調整	地域ボランティア育成関係	障がいに対する理解促進を図るための普及啓発等の事業関係
青春クラブ カラオケ 音楽鑑賞会 ゲーム会等	いっぷく 昼下がりのいっぷく 青春クラブ つうしん配布	ばそこんクラブ すい一つメモリー ちくちくクラブ メイク体験	新規及び現在の利用者に関する関係機関との連絡調整	朗読タイム メイク体験 ばそこんクラブ ちくちくクラブ	厚生連看護専門学校での当事者発表 聖隷クリストファー大学授業での当事者発表
外出 イベント等	4月 職員に質問コーナー 5月 飛竜まつり 6月 アニメについて語ろう！ 7月 青春くらぶ（くんま水車の里） 8月 お出かけ企画（楽器博物館） 9月 青春くらぶ（ニコエ） 10月 ハロウィンすい一つメモリー 11月 はるの産業まつり 12月 みどりの樹クリスマス会 1月 初詣 2月 お出かけ企画（掛川森林果樹公園アトリエ） 3月 青春くらぶ（竜洋）				

IV 利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
浜松市	214	161	157	202	167	186	190	175	191	175	151	172
磐田市	14	4	5	8	8	11	8	2	1	2	7	5
合計	228	165	162	210	175	197	198	177	192	177	158	177
1日平均	10.3	7.8	8.1	9.1	9.7	8.9	9.9	9.3	9.6	9.3	8.7	8.4

● 特定相談支援事業所 ぼるた

I 総括

令和7年度も引き続き地域からの計画相談のニーズは多く、できる範囲ではありますが、お応えをさせていただきました。

既存のケースの動きも多く、相談員それぞれが疲弊をしている時期もありました。そのようななかでも、定例会議や日々の申し送りを通して自分のケースを報告・相談することで「一人で抱え込まない」状態をつくるため、全体で個人をサポートできるよう事業所内でのコミュニケーションを大切にしました。

また令和7年度は新人相談員の配置があったため、相談支援専門員としての技術向上を目的に、主任相談支援専門員のOJTを依頼しました。昨年度同様、自立支援協議会、相談支援専門員連絡会へも参画をしながら、相談員それぞれの質を向上させるとともに、地域の中で相談員同士の繋がりをつくることも大切にしながら進めていくことも意識しました。

II 具体的取り組み内容と重点目標について

・利用者支援について

利用者の状況に合わせた支援を進めていくため、本人を中心に家族や支援者とともに本人の希望に合わせた支援の内容を考えていきました。

昨年度から引き続き、相談センターキャンパスとの定例会議を週に1回開催し、会議の中では毎回事例検討、地域の社会資源の情報共有や、各相談員で抱えている困難ケースの報告を行いました。2月からは相談支援事業所ラゴとも共同体制を結び、3事業所共同で会議を行うようにしました。毎週の会議を重ねるなかで、ケースの考え方や見立て方などを事例検討や意見交換を通して学ぶことができ、相談支援専門員としての技術の向上につながっていると感じています。令和7年度は新任相談員支援専門員の配属もあり、定例会議は新人相談員の学びの場としても非常に大きなものでした。

・地域とのつながりについて

自立支援協議会では、浜北・天竜エリア自立支援連絡会の相談支援部会に相談支援専門員船員で参加を行い、事例検討会で司会を務めるなど、積極的・主体的に参画しました。

相談支援専門員連絡会にも相談支援専門員全員で参画し、浜北・天竜エリアリーダーとして運営の立場も担っていきました。このような地域の活動に毎回参加していくことで、必然的にエリアの相談支援専門員とのつながりが生まれてきたと思います。

上記の活動については定例会議の議事録を発信することや施設長会議の場で報告していくことで法人内への周知も丁寧に行いました。

Ⅲ 利用状況

1 実施人数と計画内容

実人数 153 人 ※参考 (令和 6 年度 171 人 令和 6 年度 171 人 令和 4 年度 158 人)

利用事業	就労継続支援 A	就労継続支援 B	就労移行支援	就労定着支援	就労選択支援	自立訓練	宿泊型自立訓練	共同生活援助	生活介護	居宅介護	同行援護	施設入所	短期入所	利用契約のみ	合計
R7	29	56	3	12	1	2	1	20	26	18	1	3	38	6	216
R6	32	49	15	8	0	4	1	20	31	26	1	2	50	2	241

※実施人数と計画内容の合計数に相違があるのは、1 人の方が複数のサービス利用をするケースがあるため。

※短期入所は令和 6 年度より、就労選択支援は令和 7 年度より集計。

2 月別件数集計

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
新規計画数	2	1	1	1	2	1	1	1	2	1	0	1	14
モニタリング数	49	52	52	44	43	58	47	37	49	44	31	37	543
更新	19	7	10	8	13	14	14	9	15	9	7	12	137

事業報告書の付属明細書

- ・記載事項なし